

3年間かけて探究する中学校の総合的な学習「和歌山×SDGs」
～持続可能な社会の実現をめざしたプロジェクトを企画・実施せよ！～

山口康平(和歌山大学教育学部附属中学校教諭／教職大学院 S コース)

附属中学校では平成 31 (2019) 年度から、岡崎先生の指導助言を得て SDGs を柱に 3 年間かけて探究する総合的な学習の時間のカリキュラム開発および実践に取り組んだ。令和 4 (2022) 年度は、山口が教職大学院に内地留学したため、直接的な連携はできていないが、3 年間の実践の成果をまとめ、学部生対象の講義「総合的な学習の時間の指導法 実際の進め方(地域連携・SDGs)」で報告させてもらうとともに、日本生活科・総合的学習教育学会の『生活科・総合の実践ブックレット』に投稿し、発表する予定である。

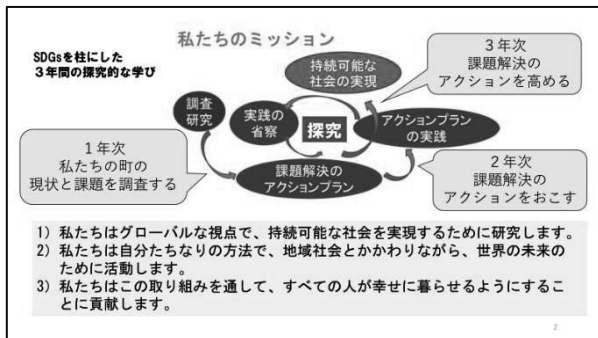
この実践の最大の成果は、専門家(岡崎先生)から理論的な助言と地域の人的資源を紹介頂き、そこから実践に必要なネットワークを構築し、社会に開かれた教育課程を実現したことである。また、「持続可能な社会の実現をめざしたプロジェクトを企画・実施する」というミッションに 3 年間通して取り組む探究型の総合にしたことで、生徒たちは主体的・対話的で深い学びを達成した。生徒が自分の成長をどのように捉えているかについては、次の 2 名の振り返りを挙げておく。

生徒の振り返り「3rd stage の取り組みを通して、あなた自身が成長したと感じていることは？」

自分たちで考えたことだからこそ「やり切ろう」今までは実際に SDGs などの持続可能な社会に向けた実現プロジェクトをしたことがなかったので、している人の特集などをテレビで見ても「そうなんだ、すごいな」と思う段階までしか行けていませんでしたが、自分のことのように考えられるようになったし、「プロジェクトしたいな、持続可能な社会の実現に貢献したいな」と思ってもなかなか行動に移すことが難しいので、学校で、友達と頑張って考えて実行できて、とてもいい経験になりました。自分たちで考えたことだからこそ「やり切ろう」って思えたと、「自分が死ぬまで地球は大丈夫だろう」といったような考えを完全に改めることができたのは成長だと感じています。プロジェクトを行っていてデメリットや問題を感じた時プロジェクト計画の段階が 1 番大事だったんだなということも学べました。(生徒 K)

地域活性化に対する考え方の変化／積極的に質問すること

成長したと感じることは、地域活性化に対する考え方が変わったことです。初め、地域活性化のゴールは東京や大阪のような人も店も溢れるような都会だと考えて取り組んでいたのですが、そんなことは日本の人口が 2 倍に増えたとしても無理なことで、訪問先で出会った方のお話を聞いていく中で、日本はたくさんの種類の地域があることで成り立っているということに気づきました。無理な取り組みをしようとするのではなく、それぞれの地域の良さを生かした取り組みをおこなっていくことが大切だと気づけたことが、この 3rd stage で一番成長したことだと思います。また去年や一昨年は、調査後に気になることが出てきたりしたので、積極的に気になることを聞けるようになったと思います。(生徒 M)



プロジェクト成果報告交流会10月26日

◆プレゼン（5分以内）
→質疑応答（3分）
発表会場の映像をZoomで教室に中継
プレゼン動画を公開収録

◆プロジェクト成果報告書（要旨）

海や川の環境保全プロジェクト

6月28日 学年で磯の浦海水浴場の清掃活動(海洋ゴミの調査)

マイクロプラスチックを樹脂で固めストラップ作成→海のカフェで販売(問題啓発)

投票式ゴミ箱パロッドピンを製作・設置・検証

煙草のポイ捨て

資源・ゴミ問題の解決プロジェクト

5月11日 ゼロ・ウェイストとは？～ニュージーランド・ラグランを例に～

5月25日 SDGs制服は実現できるのか？

6月18日 服のチカラプロジェクト事前学習

小倉産業・カンコー学生服

株式会社GOTO
ユニクロ和歌山店
ファーストリテイリング

製材所の端材
伐採果樹を使った木工

手芸用品店でもらった端布
シューズ、コースターにリメイク
附小5年A組でリメイク紹介授業

服のチカラプロジェクト
近隣の幼稚園、小学校と連携し、2931枚を送る。

農業を中心とした地域活性化プロジェクト

無農業農業に挑戦

5月25日 有機農業家GT

6月11日 おいけファーム見学

地域農産物の流通調べ
→農業の魅力
発信・交流

廃棄みかんで商品開発
→食品ロス削減
→農家・商店の収入UP
→和歌山の特産品PR

観光を中心とした地域活性化プロジェクト

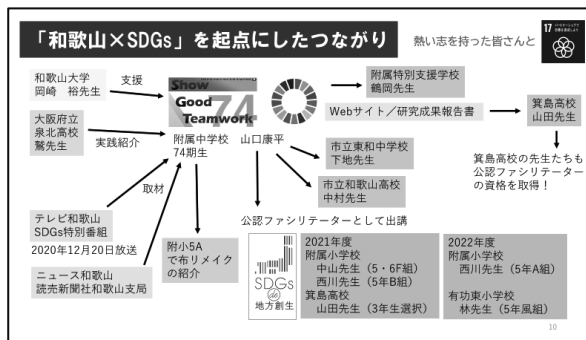
6月21日 和歌山市観光案内所(和歌山城)を訪問
和歌山城で映える写真の撮り方練習

観光マップ作成

観光スポット
和歌山メシ紹介
マップ作成

和歌山観光スポット
紹介ムービー作成

和歌山観光ツアー
プラン作成 など



さらに、カリキュラムを開発・実践するだけでなく、「和歌山×SDGs」の目標と評価規準を作成できたことも大きな成果である。右のQRコードから御覧頂きたい。発表では、最終年次の概要を報告し、和歌山大学を中心とした「ESD for SDGs」の取り組みによってどのようなネットワークを構築できたかを中心に報告する。

